

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ & 8thQ	2年	2 単位	選択
担当教員			
藤原 由衣子			

講義概要	<p>本授業では、全15回の講義を通して、日本語を教える基盤となる下記3つについて学生個々人が見聞を深める機会としたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①世界・日本・長崎における日本語教育の現状</li> <li>②留学生の日本語学習過程</li> <li>③日本語教師という職業・役割</li> </ul> <p>また、本授業では2回の日本語教育現場見学を予定している。授業計画では事前準備を11,12回目に、実際の見学を13,14回目に予定しているが、見学するクラスの都合で予定が変更になる可能性が大いにある。</p>		
	1	オリエンテーション	この授業の内容・展開を知る。「日本語教師」とはどんな職業かを知り、直接法を体験する。
	2	日本語教育1（世界）	世界の日本語教育について学ぶ。 関連するテーマについて見聞を深め、自分自身の知識や経験と照らし合わせて考える。
	3	日本語教育2（日本国内）	日本国内における日本語教育について学ぶ。 関連するテーマについて見聞を深め、自分自身の知識や経験と照らし合わせて考える。
	4	言語としての日本語	予習：次回テーマについてプリントを読む。 復習：今回のテーマを振り返り、小テストに備える。
	5	文字・表記1	日本語の文字・表記について学ぶ。 関連するテーマについて見聞を深め、自分自身の知識や経験と照らし合わせて考える。
	6	文字・表記2	予習：次回テーマについてプリントを読む。 復習：今回のテーマを振り返り、小テストに備える。
	7	文法1	日本語の文字・表記について学ぶ。 関連するテーマについて見聞を深め、自分自身の知識や経験と照らし合わせて考える。
	8	文法2	予習：次回テーマについてプリントを読む。 復習：今回のテーマを振り返り、小テストに備える。
	9	社会言語学1	文法について学ぶ。 関連するテーマについて見聞を深め、自分自身の知識や経験と照らし合わせて考える。
	10	社会言語学2	予習：次回テーマについてプリントを読む。 復習：今回のテーマを振り返り、小テストに備える。
	11	長崎における日本語教育1	社会言語学について学ぶ。 関連するテーマについて見聞を深め、自分自身の知識や経験と照らし合わせて考える。

		る。
	12	復習：発表に備えて準備をする。 長崎における日本語教育 2 グループワークをとおして長崎における日本語教育の現状を把握し、現場見学に向けて知識を得る。 他グループの発表を聞き、見聞を深める。
	13	復習：現場見学に備える。 日本語教育の現場見学 1 実際の現場を見学し、留学生の日本語学習・教師の学習支援を観察する。
	14	復習：現場見学を振り返り、日本語教師の役割について考える。 日本語教育の現場見学 2 実際の現場を見学し、留学生の日本語学習・教師の学習支援を観察する。
	15	復習：現場見学を振り返り、日本語教師の役割について考える。 総括 授業や現場見学をとおした日本語教育・日本語教師についての気づきを共有する。
授業形態		講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率		<p>到達目標</p> <p>①世界・日本における日本語教育の概要を知る。      ②自分の周囲の留学生や外国人の日本での生活を考えながら、長崎の日本語教育を学ぶことができる。      ③日本語を外国語として学ぶ人の立場になり、日本語について考えることができる。      ④日本語教育における基本的な専門語彙や教授法を学ぶことができる。      ⑤日本語教師の職業や役割を知る。</p> <p>評価方法</p> <p>学習意欲 (40%)      レポート (30%)      小テスト (30%)</p>
教科書・参考書		テキスト：適宜プリントで配布する。（購入希望の人はこちらを購入ください。→株式会社アスク『新・はじめての日本語教育 1』(2004)） 参考書：授業内容に合わせて別途指示する。
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー		水曜 3 コマ目 (13:10-14:40) に研究室にどうぞ。
備考・メッセージ		周囲の留学生の友だちや外国人のことを考えながら、授業を受けてみてください。 日本語の面白さ・難しさ、奥深さを皆で共有しながら学びましょう。